



News Release

2025 年 9 月 25 日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター (東京)

脱・取説キャンセル界限

～「電子レンジ」や「IH こんろ」等の調理家電の事故を防ぐポイント～

1. 関東甲信越地方のプラグ・コード・コンセントの重大製品事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2020年から2024年の間にNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、調理家電の製品事故は206件ありました。調理家電の製品事故について、関東甲信越の都県別の年別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。また、本資料では、調査の結果、外部からの延焼が原因であり明らかに製品事故ではないと最終判断された情報も含みます。

表1. 年別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年	2020年	1	1	1	5	3	18	6		1	1	37
	(内数) 火災事故	(1)	(1)	(1)	(5)	(2)	(15)	(5)		(1)	(1)	(32)
	2021年	2	1	1	5	4	18	5		1		37
	(内数) 火災事故	(2)	(1)	(1)	(4)	(2)	(16)	(5)		(1)		(32)
	2022年	2			6		22	9	2		1	42
	(内数) 火災事故	(2)			(5)		(21)	(7)	(2)		(1)	(38)
	2023年	5		2	7	5	23	8				50
	(内数) 火災事故	(4)		(2)	(1)	(3)	(19)	(7)				(36)
	2024年			2	1	4	23	9	1			40
	(内数) 火災事故			(2)	(1)	(4)	(20)	(9)	(1)			(37)
合計		10	2	6	24	16	104	37	3	2	2	206
(内数) 火災事故		(9)	(2)	(6)	(16)	(11)	(91)	(33)	(3)	(2)	(2)	(175)



表 2. 被害状況別事故発生件数

			茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
被害状況	人的被害	死亡							1				1
		(内数) 火災事故							(1)				(1)
		重傷				3	1	5	1				10
		(内数) 火災事故				(0)	(0)	(0)	(0)				(0)
		軽傷	1			1		5					7
	(内数) 火災事故	(1)			(1)		(3)					(5)	
	物的被害	拡大被害	7	1	4	8	4	37	17	3	2	2	85
		(内数) 火災事故	(6)	(1)	(4)	(8)	(4)	(35)	(17)	(3)	(2)	(2)	(82)
		製品破損	2		1	8	9	47	17				84
		(内数) 火災事故	(2)		(1)	(6)	(6)	(45)	(14)				(74)
被害なし			1	1	4	2	10	1				19	
(内数) 火災事故			(1)	(1)	(1)	(1)	(8)	(1)				(13)	
合計			10	2	6	24	16	104	37	3	2	2	206
(内数) 火災事故			(9)	(2)	(6)	(16)	(11)	(91)	(33)	(3)	(2)	(2)	(175)

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	1	5	3	10	5				25
	B 製品および使い方に問題があったもの				5		11	2				18
	C 経年劣化によるもの				1		3	3				7
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの			1	1	2	19	4	1			28
	小計	0	1	2	12	5	43	14	1	0	0	78
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの											0
	E 誤使用や不注意によるもの	2	1	1	3		9	2	1		2	21
	F その他製品に起因しないもの	3			3		7	4				17
	小計	5	1	1	6	0	16	6	1	0	2	38
その他	G 原因不明なもの	3		2	3	4	30	12	1	2		57
	H 調査中のもの	2		1	3	7	15	5				33
	小計	5	0	3	6	11	45	17	1	2	0	90
合計		10	2	6	24	16	104	37	3	2	2	206



(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① オーブントースターの事故事例（庫内の食品かす等がヒーターで過熱されて発火した事故）

・ 2020年7月、東京都、拡大被害

（事故内容）

オーブントースターを使用中、周辺を焼損する火災が発生した。

（事故原因）

オーブントースターの電気部品に異常は認められず、庫内の底面及びヒーターに油污れ及び食品かすとみられる炭化物が付着していたことから、庫内の食品かす等がヒーターで過熱されて出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「使用中は本体から離れない。調理くずや油分が残ったまま調理すると発煙、発火の原因となるため、使用後は必ず手入れする。」旨、記載されている。

② IH こんろの事故事例（鍋底が反った鍋で少量の油を加熱したため油が過熱されて出火した事故）

・ 2021年3月、東京都、製品破損

（事故内容）

IH こんろを使用中、鍋の内容物から出火する火災が発生し、IH こんろの周辺を焼損した。

（事故原因）

IH こんろに異常が認められないことから、鍋底が反った鍋で少量の油を加熱モードで加熱し、その場を離れていたため、油が過熱し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「底にそりのない鍋を使う。」、「1L 未満の油で調理しない。」、「調理中はそばを離れない。」旨、記載されている。

（本件に関する問い合わせ先）

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代、北村、山崎

電話：03-3481-1820